

聖愛

五月号

原町聖愛保育園

二〇〇六年 五月一日 発行

新緑が眩しい季節となりました。

色とりどりの草花に囲まれ、小鳥達の声に誘われるように、子どもたちも友だちを誘って様々な遊びに挑戦しています。

全てが神様の恵みの中にあることに感謝して過ごして行きたいと思えます。



「新聞一つください」

「個」「枚」「本」「冊」「回」「人」「番」「粒」「段」……これらは数をあらわす語に添えて使われているものですが、普段は意識することなく、状況にあわせて自然に使っています。

「一人二個ずつ」「絵本は三冊まで……」「もう一回」「テーブル拭きのタオルを四枚」「何本あるのかな?」「走るのが一番速いのは……?」などなど。家庭でも保育園でも、日常的によく使われる言葉です。

ある朝、年長児が緊張した表情で事務室に来て、「新聞一つください」と言いました。「新聞一つ」とはどう判断したらいいのでしょうか? 担任は、「新聞を一束貰ってきてください。」と用事を頼んだようですが、頼まれた子どもは、「束」と言う言葉は聞きなれず想像もつかなかったため、自分の言葉にしたときには、「一束」が「一つ」になったようです。

子どもは二歳半ごろには、大雑把にはありますが、量の比較ができるようになります。それは、「いっぱい・いっぱいでない」「大きい・大きくない」というような表現ですが、数を表す言葉も、繰り返し聞くうちに物や行為と併せて、実感として理解できるようになります。

小さいから分からないだろうと、大人がいつまでもこれらの言葉を使わずに話しかけたり伝えたりしていると、子どもは覚える機会を逃してしまいます。普段から正しく使って伝え、子どもが分からないことが生じたら具体的に説明を加えて、分かるように助けてやるのが大事です。

新聞は、発行数で数えるときは「部」、種類を言う場合は「紙」、新聞紙は「枚」、各ページは「面」と数えます。

さて、「新聞一束」は、みなさんはどれくらいの量を想像しますか。

園長 遠藤美保子

5月の保育目標

主題 0,1,2歳児『何だろう』 3,4,5歳児『見つけたよ』

<暗唱聖句>子どもたち主に結ばれているものとして、両親に従いなさい。 エフェソ6章1節

年齢	保育目標	保育内容	保育者の配慮
てんし 0歳児	<ul style="list-style-type: none"> 外気浴をしながら、草花や砂など見たり触れたりしてみる。 保育者と一緒に体を動かす。 	<ul style="list-style-type: none"> デッキや戸外で外気浴 寝返りや腹ばい、ハイハイで探索あそび 保育者とふれあいあそびや歌あそび 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの発達に合った活動やあそびに誘い、動きを促せるようにしたり、また、共に視線を合わせ触れ合いながら楽しむようにする。 天候の良い日には、戸外へ出てあそび、草花や砂などに触れ、探索心が出るように声をかけたり、共に触れながら外気浴を楽しめるようにする。
つぼみ 1歳児	<ul style="list-style-type: none"> 保育者と一緒に探索活動をする中で、見たり、触れたりして色々なものに親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 固定遊具(握る、ぶら下がる) 裸足になって(ザラザラ、ヌルヌルなどの感触あそび) 散歩…「歩いてみる」(草花の匂い、風の音、鳥の声、虫を見つけて) 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの小さな気付きを大切に、共感し合いながら発見や驚きを見逃さず受け止め、言葉や歌を添えながら、好奇心や興味を満たすようにする。 ザラザラ、ヌルヌルなどの感触あそびが楽しめるよう、保育者がやってみせて一緒に楽しむ。 気温や日ざしに応じた衣服の調節、水分補給などにも心がける。 探索活動が盛んになるので、怪我や誤飲には、十分注意する。
はな 2歳児	<ul style="list-style-type: none"> 好きなあそびを見つけ動いてみる。 草花・小動物に関心を持ち見たり触れたりして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 固定遊具(握る、ぶら下がる、跳ぶ) 追いかっこ 散歩(手を繋いで歩く、草花に触れる、小動物にふれる。) ひも通し 	<ul style="list-style-type: none"> 各自の健康状態に配慮しながら無理なくあそびに入れるように誘う。 散歩では、歩く楽しさを感じると共に草花を見たり、小動物に触れたりできるように考慮する。 子どもが驚いたり、発見したりする心の動きを感じ取り言葉で代弁しながら思いを共有する。
ファミリー 3歳児	<ul style="list-style-type: none"> 好きなあそびを見つけ楽しんで楽しむ。 	(室内) <ul style="list-style-type: none"> はじき絵(3,4,5歳児) 押し花(自己紹介カード5歳児) 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者と一緒に自然に触れ、春の動植物に興味を持ち、更に探索意欲を持つことができるようにする。 興味を持ったあそびに触れることができるようあそびを確保し、取り組める環境を整える。
ファミリー 4歳児	<ul style="list-style-type: none"> やりたいこと、できることを見つけ保育者や友だちと楽しんであそぶ。 	粘土 ままごと マーブリング にじみ絵 織り機 (戸外)	<ul style="list-style-type: none"> 保育園の様子が分かって、心地よく過ごせるように、また、自分であそびだせるような室内の環境(材料、遊具、場)を整える。 自分で出来ることを増やせるように、生活の仕方を丁寧に伝え、自分でやってみようとする意欲を引き出せるようにする。 経験の違い、あそび方や思いの違いを十分に認め、ルールを知らせながら、じっくりしたいことが出来るようにする。
ファミリー 5歳児	<ul style="list-style-type: none"> 友だちとの遊びの中で楽しさを見つけ、楽しいことや苦手なことにも挑戦する。 	鬼ごっこ(色鬼、タッチ鬼) 円形ドッチボール 太鼓橋 雲てい ルールあそび	<ul style="list-style-type: none"> 色々なあそびや課題を提供し、「やってみる」という気持ちを引き出せるよう誘い掛けやきっかけを作る。 失敗しても心配しないで、どんなことにも挑戦できるように励ましながら時には手を貸して援助する。 年下児との関わりを意図的に作り、リードして遊んだり、教えてあげられるような環境を設定する

◎ 5月の予定◎

日付	園の行事	職員の予定
8(月)	家庭訪問開始 ~29日	
9(火)	合同礼拝	聖書研究めぐみの会
10(水)	子育てサークル(ブーさんG)	職員会議 保育研究大会~11日
11(木)	小人さんの音楽会 健康診断(ファミリークラス)	施設長会議
12(金)	しゃりん梅訪問(ほし組) 健康診断(てんし、つぼみ、はな)	
15(月)		年長・年少会議
16(火)	野菜の苗植え(全クラス)	ほれん役員会
17(水)	子育てサークル(レイボ- G)	マネージャー会議
18(木)	ポップコーン(クラブ活動)	相双支部保育士部会 未熟児支援
19(金)		キリスト教保連総会~20日
21(日)	「お父さん! 出番ですよ!」 親子遊びと子育て相談会 保健センター	
22(月)	弁当の日	構造化会議 ちいさな会理事会
23(火)	避難訓練	聖書研究タラントの会
24(水)	子育てサークル(ブーさんG)	ケース会議
25(木)	小人さんの音楽会	
26(金)	ポップコーン(クラブ活動)	
27(土)		安田財団障害児研修~28日
30(火)	しゃりん梅訪問	園内研修
31(水)		給食会議 相双支部保育士部会学習会

《 野菜の苗植え 》 5月16日(火)

3月末に植えたジャガイモの畝の間を利用して、夏野菜やさつま芋の苗を植え、収穫まで世話をしたり成長の様子を観察します。作物の成長の不思議を通して、神様が与えてくださる自然の恵みに感謝し、育てる喜びを感じてほしいと思います。

今年度は、「食育」についても保護者の方々と一緒に考えていき子どもたちの育てた野菜を使って「芋掘り・芋煮会」や10月の保育参観では、「こんにやく作り」も予定しています。

子どもたち自身が食の大切さを知り、身体に良い食べ物を自分で選べるようになるために、また、健康な体をつくっていくための大人の役割をも見直す機会にしたいと考えています。

※当日は、長靴、スモックまたは汚れても良い服装を準備して下さい。



《 避難訓練 》 毎月1回

保育園では、火災や地震の発生時の様々な状況を想定して訓練を行っています。

災害は、いつ起こるか分かりません。どのような状況でも慌てず安全に避難できるよう、常に心構えをしておく必要があります。

今年度も、地域の方々の協力を得ての総合避難訓練や保護者引渡し訓練などを予定しています。

なお、保育園開園時間中に災害が発生した場合の最終避難場所は、原町第二小学校となりますのでご承知下さい。

野馬追通り銘醸館「家族の絵展」出品 5月3日(水)~14日(日)

つき組(五歳児)の子どもたちの絵が展示されています。

場 所 銘醸館 蔵2ギャラリー



《 家庭訪問 》 5月8日~5月29日 全園児

ご協力をよろしくお願い致します。

感覚から育つもの

◎幼児期の感覚は大人よりはるかに敏感で、1つの木切れを触っただけでも大人からは想像もつかないくらい多様な感覚を受け取っています。ザラザラ、つるつる、匂い、硬さ柔らかさ、温かさ冷たさなどなど・・・子どもが小さければ小さいほど、選別するフィルターを持っていませんから、子どもの周りにあるもの、子どもの周りでおこなわれていることは、直接影響を及ぼします。

小さい時からテレビ、コンピューターゲームなどのヴァーチャルな世界ばかりに親しんでいると、それは文字通り仮想のリアルでない体験しかできなくなります。

直接感覚を通して体験することは、自分の質を育てることになり、私たち人間の中にある人間としての質、見えない部分が養われていきます。

「シュタイナー教育 おもちゃと遊び」

著者・・・吉良 創

先日、子どもたちのままごとの様子を見てみると、畑や砂場、園庭のあちらこちらの様々な質の違う砂や土を集めてあそんでいました。サラサラでも色の違うもの、場所の違いで手触りなどの質が違うもの、お盆にはその違いを楽しむように奇麗に何色もの砂を使い分けて並べられていました。他の子どもは色の違う砂の上に掛け、砂糖に見立てたり、飲み物の中に混ぜたりと、園庭のどこにどのような土や砂があるか良く知っています。

子どもたちが、土や砂、水や木々など自然と触れ合うことは、心を安定させ、五感によって感じ、吸収し、心の育ちを育みます。

保育園では、折に触れ各年齢ごとに、四季折々の自然に親しんでいきたいと考えています。

《 四年目を迎えた小人さんの音楽会 》

この音楽会は、昔から歌い継がれてきた良い歌を大切に、季節を感じられる曲や子どもたちの好きな曲を静かに聴いたり、一緒に歌ったりしながら楽しめます。また、本格的な生の音楽に触れて、曲から感じる「心地よさ」を感じて欲しいと願って企画しているものです。

曜 日 毎月第2・4木曜日(先生の都合で変更することがあります)

場 所 原町聖愛保育園ホール

時 間 AM10:00~10:30

対 象 ファミリークラスの子どもたち

奏 者 三沢 真知子先生...ピアノ・うた

高野 純 先生...オーボエ・リコーダー



※ 長い間素敵なサクソの音色を聞かせて下さった草野 真樹先生は、中学校で音楽指導にあたることになりました。ありがとうございました。

《健康診断 元気に過ごすために》 園医 平田慶肇先生(内科)

5月11日(木) 13:30 (ファミリークラス)

12日(金) 13:30 (てんし、つぼみ、はな)

結果は、実施後個別にお知らせします。

健康診断は、全園児が必ず受けることになっていますので、当日受けられなかった方は、園医に行ってお受けいただくようになります。

ご家庭でも健康管理には留意されていると思いますが、同じく大切なのが、「生活リズム」です。朝起きる時間、夜寝る時間を決め、三度の食事をきちんととる。結果はすぐ目に見えるものではありませんが、生きる力の土台となりますので習慣化することが大切です。

<お知らせ>

今年度4月より 久米本有香先生(臨床発達心理士)が、保育園の子どもたちの言葉の発音や会話のやり取り、その他の育ちを専門的な立場から見て、指導をして下さいます。(月2回)

子育てに不安や心配なことがありましたら、相談できますので事前に担任又は主任に申し出て下さい。